

こんごういん ニュース 金剛院 NEWS


●企画・発行/金剛院
●制作/クリプロ

みんなの心をひとつに! ご功德法会「おせがき」

三界すべての霊を鎮めるために開かれる「おせがき」。

今年は東日本大震災で犠牲になられた方への思いも込めた特別な法要になりました。



 本格的な夏の訪れとともに、今年も7月6日に「お施餓鬼(おせがき)」が行われました。おせがきは、誰からも供養されることのない「餓鬼」に食物を施して供養し、その善行によって得た功德を、塔婆を建ててご先祖様にふりむける、つまり回向(えこう)する大切な法要です。

この日、お寺では地域のご婦人が朝早くから集まって作った、心づくしのお弁当でご接待。このように昔ながらの伝統を守っているお寺は、今ではそれほど多くないようです。

そして、会場の設営や受付、お塔婆の仕分けには、近隣のお寺や地域の皆さんが多数参加して汗を流し「おせがき」を支えました。

おせがきには近隣地域からたくさんのお坊さんが集まりますが、それは、すべての精霊を供養するためです。それは無限に近い数。

ですからこの時期、お坊さんたちは近隣のお寺を巡って、皆の力をひとつに集めた祈りを繰り返すのです。

そして今年のおせがきは、震災で亡くなった御尊霊を供養するために気持ちを込めて全員で般若心経が唱えられました。



戦後、物資がなかったころからずっと続くご接待。精進料理とお赤飯の掛け合わせは変わりません!。

切紙作家 馬祭竜二(かざまつり りゅうじ)先生のお話しでは、目録で作られた「空」の切り紙と、手描きのうちわがプレゼントされました。

★東日本大震災の被災地では、町全体が避難を余儀なくされ、家族・親族も別々となり、ご先祖のご法事が行えないという方もたくさんいらっしゃると思います。今年、金剛院ではおせがきを前に、ホームページ上で大震災で亡くなられた方々の供養受付のページを作って、希望される方の霊についても一緒にご供養しました。また「被災地支援物資募集」にはたくさんのご協力をいただきありがとうございます。今年のおせがきは、被災地に皆さんの思いと祈りをお届けした特別な法要になりました(住職記)

